

令和3年 8月 1日

協力活動報告書（令和3年 7月分）

清水町長 様

清水町地域おこし協力隊員

氏名 伊藤 隼 印

今月の活動報告	<p>今月は、ふるさと納税の新品に関する打ち合わせと、NHKで放送された特番「北海道スタジアム」に出演しました。</p> <p>新品の打ち合わせでは、とある酪農家さんの牧場を訪ね、こだわりや実際の牧場の様子、今後の展望を聞かせていただき、非常に刺激になりました。その酪農家さんは、「グラスフェッド」にこだわり、酪農に対する熱い情熱がある方で、毎日挑戦の連続でした。その方の想いや商品が寄附者の皆様に届くようサポートしていきたいと思います。</p> <p>北海道スタジアムでは、清水町に話が振られた際にトークができるよう「清水町ならではの」ものを事前に探していきました。清水歴がまだ1年の私には、「清水町ならではの」が思いつかなかったため、町民の方の知恵を借りて、トークの準備をさせていただきました。</p> <p>その中で特に印象が強かった「清水町ならではの」は『第九をほとんどの子どもたちが歌える』ということです。</p> <p>実際に、中学生や幼稚園児が歌っている動画を拝見させていただきました。清水出身ではない私からすると、いい意味で「とても面白かった」です。新鮮で衝撃的でした。</p> <p>清水の子どもたちは、「第九を歌う」ということに、必ず触れる機会があり、清水で育ったほとんどの子どもたちが「第九」を歌うことができるというのは、北海道内では唯一だと思いました。</p> <p>清水ならではの話題を用意して、出演した「北海道スタジアム」では、今回は話すタイミングがなかったのですが、私としては、清水についてまた一つ知識が増えたので、大きな収穫でした。</p> <p>町民の方が気づいていない清水の魅力を発見して伝えていくこともお仕事だと思っていますので、今後も町民との関わりを増やしていき、魅力のPRに尽力していきたいと思っています。</p>
---------	--

要 望、 意 見 等	
備 考	